

令和5年度 福島県立ふたば未来学園中学校・高等学校入学式 校長式辞

東北に春を告げるここ広野町にも、例年より早く春が訪れ、晴天に恵まれ生命力漲るこの佳き日に、国や県、そして双葉郡八町村を始め、たくさんのご来賓の皆様と保護者の方々のご臨席を賜り、令和五年度の入学式を挙げていただけますことは、真に喜ばしい限りであり、皆様に深く感謝申し上げます。

ただ今、入学許可しました中学校六十名、高等学校百六十名の新入生諸君、入学おめでとう。そして、ようこそふたば未来学園へ。君たちの入学を歓迎しますとともに、本日まで、お子様を暖かく見守り育ててこられた保護者の皆様に、心からお祝いを申し上げます。

君たちが入学したふたば未来学園中学校・高等学校は、東日本大震災からの教育復興のシンボルとして、双葉郡八町村を始め、県や国など多くの方々からご支援をいただき、現在休校中の五つの高等学校の伝統を受け継いで、震災の四年後に高等学校が、令和が始まる年に中学校が開校しました。

周囲の期待に応えるべく本校では、中高六年間を通して学ぶ併設型中高一貫教育や、双葉郡内の中学校との連携型中高一貫教育、三つの系列から選んで学ぶ総合学科教育、トッパスリートを育成するビクトリープログラム、海外研修を取り入れたグローバル教育、そして、静岡県の三島長陵校舎における学びなど、他にはない特色ある教育を行っています。加えて、この春、文部科学省から指定されたWWLコンソーシアム拠点校としての取組を始めることとしており、また、教育環境についても極めて充実し、県内随一の設備を誇る新しい校舎や国内外の多様な連携機関、全県から集まったたくさんの教職員など、他校を圧倒しています。

中学校第五期生、高等学校第九期生となる君たちは、この恵まれた環境の中で、自立・協働・創造の理念の下、「変革者たれ」の建学の精神を実現すべく、自らを変え、地域を変え、社会を変えていく変革者を目指して、充実した学校生活を送ってください。私たち教職員は、一人一人の生徒に寄り添い、夢や希望の実現に向けて、精一杯サポートしてまいります。

さて、昨年度に引き続き本校では、「一人一人の生徒が輝く教育実践」、「共生社会で活躍できる人材育成」、「安全に安心して学べる環境整備」の三点を重点目標に掲げました。ふたば未来学園での生活において、これらを踏まえ、心掛けてほしいことを話します。

まず、生徒が輝く教育について、君たちには、授業や部活動、行事や探究などに加え、苦手なことやコロナ禍でできなかったことにも、失敗を恐れず積極的に挑戦してほしいと思っています。「失敗は成功のもと」と言われるように、様々な方法を試して失敗を重ね、問題を解決していく「トライ・アンド・エラー」の繰り返しは、大きな成功に繋がります。たくさんの失敗と成功の経験を通して自分自身を理解し、自分の強みを見出してもらいたい。そして、震災当時、休校中の五校の先輩方は、避難を余儀なくされて仮設校舎や他校を間借りするなど、恵まれない環境で必死に学んでいたことに思いを馳せ、毎日の学校生活が当たり前ではないことを決して忘れず、一日一日を大切に、精一杯努力しながら、人生の主人公としてキラキラと輝いてほしいと願っています。

次に、社会で活躍する人材として、君たちには、幅広い年代の個性豊かな仲間との学校生

活の中で、切磋琢磨しながら自分の強みを発揮してほしいと思っています。しかし、自己主張するだけでは、独りよがりの単なる我が儘となり、強みを生かすことはできません。私の座右の銘なのですが、中国の思想家 孔子の言葉を集めた論語の中に、「人の己を知らざるを患えず、人を知らざるを患うるなり」という言葉があります。周りが自分のことを分かってくれないと悲しむよりも、他人を理解できないことを残念に思うべきだという意味です。人はそれぞれ違うので、他人のことを思いやり理解しながら、自分の強みの発揮の仕方を見つけて、存分に活躍してもらいたい。そして、将来、思想や宗教、民族や人種など、多様性溢れる社会の中で、言語や文化、価値観の違いを越えて、いろんな人と力を合わせて協働し、地域や世界に貢献してほしいと願っています。

次に、安心して学べる環境について、私たち教職員は、君たちが安全・安心に学ぶことができる学校づくりに全力で取り組んでいく覚悟です。その上で君たちは、毎日を過ごすこの学校を、誰もが居心地の良い空間としてください。互いの良さを認め合い、自分に磨きをかける学舎には、いじめや暴力などは存在するはずもありません。そして、風評被害に苦しんだ福島県の学校だからこそ、君たちには、ルールやマナーはもとより、差別や偏見を持たないという暗黙の了解、いわゆる紳士協定を守ってもらいたい。そして、これまで日本が経験した戦争や原爆投下、震災や原発事故などに伴う悲劇が二度と繰り返されないよう教訓を大切に、誰もが幸せに暮らせる未来を創ってほしいと願っています。

君たちは今日からふたば未来学園の一員です。社会をより良く変える変革者となる誇りを持ち、周囲からの期待を自覚して主体的に学び、歴史の浅い本校に新たな伝統を築いてください。時には悩み苦しいこともあると思うが、青春時代の苦悩は、君たちの成長に欠かせない大切な経験として前向きに捉えて、この学園で子どもから大人へ、与えられる側から与える側へと変わって行ってください。

保護者の皆様に申し上げます。これまでのご労苦と本日の喜びは如何ばかりかと拝察いたします。皆様にとってかけがえのない存在であるお子様の教育に、私たち教職員一同、如何なる時も誠意を持って、真摯に取り組んでまいります。家庭と学校が両輪となり、互いに協力し合うことで、相乗効果が生まれると考えていますので、心配事があれば、遠慮なく学校にご相談くださるよう、お願いいたします。

そして、新入生諸君、今日から始まる学校生活に対して、ご家族の方は君たちの成長への期待とともに、不安を抱き、心配していると思います。余計な心配をさせないために、何も言わずに大丈夫とするのではなく、学校からの連絡事項や、学校生活や寮生活の様子などを言葉で丁寧に伝えて、安心させてください。それが中学校・高等学校に通学させてもらう子どもとしての責任です。

以上、新入生全員の学校生活の充実と夢や希望の実現、そしてご参会の皆様のご多幸を心から願い、式辞といたします。

令和五年四月十日

福島県立ふたば未来学園中学校・高等学校長 郡司 完